

もっと知りたい、健康のこと。

静岡赤十字病院広報誌

2024年・新春号

vol.369

|季刊|発行|

日赤NEWS

ほっとニュース

「日本赤十字社静岡県支部との合同災害救護訓練」を実施
「呉服町名店街・静岡伊勢丹・日赤合同総合防災訓練」に参加

information

市民のみなさんともっとクロス!
第2回市民公開講座開催のご案内

【特集】

縁の下の力持ち!

日常診療を支える画像検査



健診センターからのお知らせ
人間ドックを受けてみませんか

しずおかクロス NAVI

外来患者アンケート集計結果のご報告

写真は当院で働くスタッフが毎号出ます。

注目の
トピックス

今号のテーマ: 画像検査

縁の下の力持ち!

日常診療を支える 画像検査

近年その存在が知られるようになってきた放射線科。中でも放射線医は、患者さんと接する機会はほとんどないものの実は日常治療に深く関わっています。放射線科の果たす役割と、今後増加が予想される検査について同科 井上部長に解説していただきます。

教えて
ドクター
Q & A

放射線科 部長
井上 征雄 医師

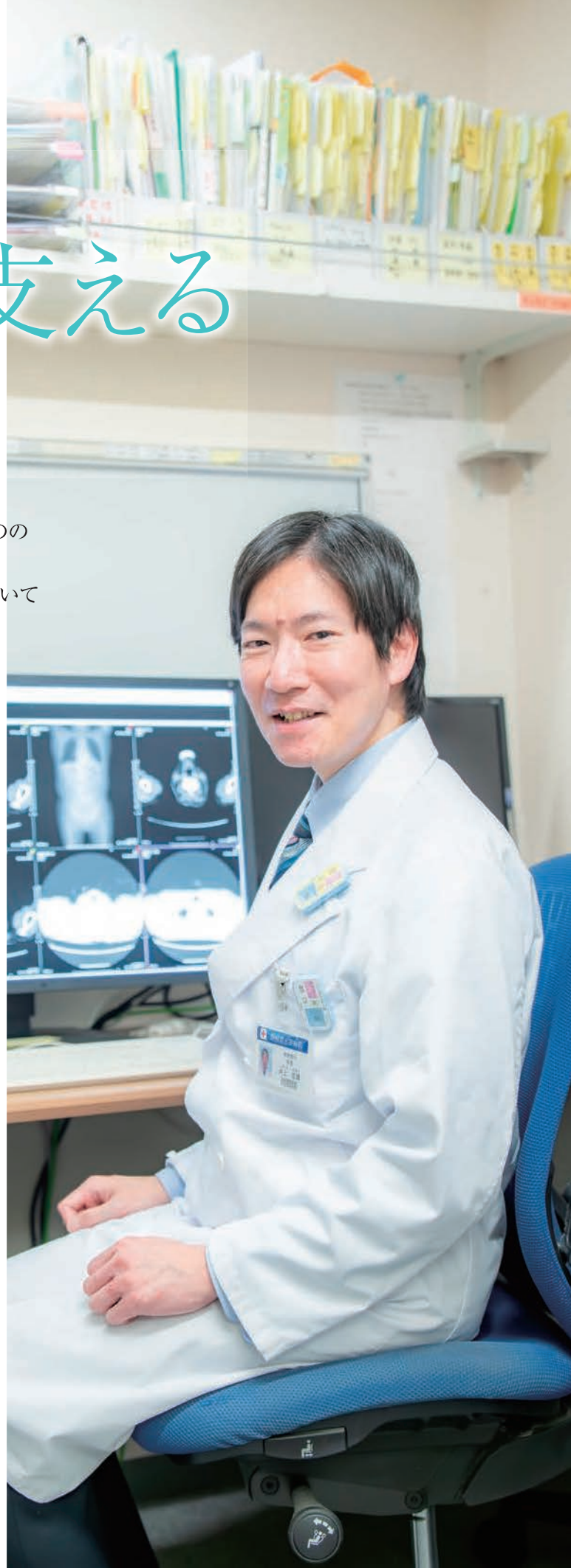
昨年8月に当院に着任、気さくな話ぶりが印象的な井上先生。多忙な業務の中、片道25分の徒歩通勤がいい気分転換になっているそう。趣味は音楽。マンドリン演奏は学生時代より続けている趣味のひとつ。

Q 検査装置の形状がとても似ているCTとMRI。それぞれどんな検査ですか。

A CT検査はX線で撮影した画像をコンピュータ処理で再合成するもので、全身の映像を短時間で得られます。ただし被ばくのリスクがあるため、検査にあたっては放射線量や回数をきちんと管理します。また小さなお子さんの場合は、ご家族に検査に関して理解をいただけるよう丁寧に説明を行います。一方MRI検査は強力な磁石と電磁波を使い、体の特定部位の内部を画像化するもの。撮影に時間がかかること、体に金属が入っている方や閉所恐怖症の方には不向きですが、頭の内部や整形外科、婦人科の診断では特に有用です。

Q アイソトープ検査とはどんな検査ですか。

A 特定の部位に集まりやすい性質を持った放射性医薬品（ラジオアイソトープ：放射性同位元素を含んだ医薬品）を投与したのち、医薬品から放出される放射線（ガンマ線）をガンマカメラで画像化するもので、RI、核医学とも呼ばれます。臓器や組織の形だけでなく、機能や代謝状態なども見ることができます。放射線量は人体に影響しない微量なもので、時間とともに体外に排出されますので、被ばくの影響はごくわずか。痛みなどの負担なしに受けられるのもメリットです。



適切な診断と治療を支える 「縁の下の力持ち」

総合病院の放射線科というと、一般の方であればCT/MRIのイメージを持たれている方が多いかもしれません。

日本におけるCT/MRI装置の台数や検査件数は世界1位、2位の多さを誇り、実際に検査を受けたことのある方も多いと思います。その他にもアイソトープ検査や血管造影、単純X線撮影(レントゲン)、消化管造影、マンモグラフィなど放射線科が関わる領域は多岐に及びます。

数年前に、放射線科を舞台にしたドラマ「ラジエーションハウス」が放映されたのをきっかけに、放射線科医や診療放射線技師の存在が世に知られるようになってきました。CT/MRI装置の安全な運用や撮影された画像の管理など、看護師や他のコ・メディカルの方々を含め放射線科全体で日々診療に携わっています。目立つ存在ではありませんが、「縁の下の力持ち」と評されることが多いです。

放射線科医は大きく画像診断医と放射線治療医に分かれています。それぞれ専門性が非常に高く、掛け持ちする余裕はありません。私は画像診断医として勤務しており、撮影された検査画像から病氣

を見つけ出して、他の診療科の先生に助言する役割を担います。

話題の認知症治療にも 重要な役割を果たすMRI

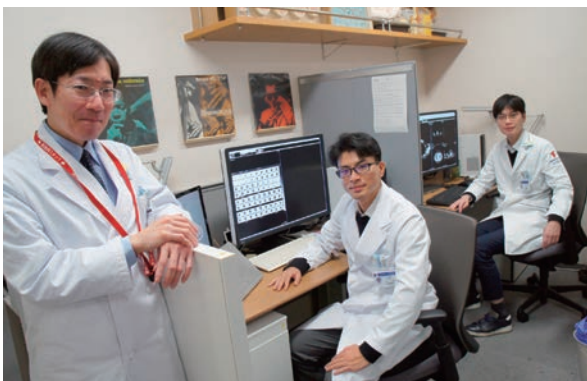
放射線科で行っているさまざまな検査は、病気を「見つける」だけでなく、「予防する」側面も併せ持つことで、健診でもCT/MRI検査を導入する施設が増えています。検査過剰といわれる時代、予防目的での撮影には賛否ある所ですが、一方で今後増加が予想されている検査があります。

昨年9月に、アルツハイマー病の新薬「レカネマブ」が厚生労働省で承認されたというニュースが大きく報じられましたよね。本紙が発行される頃には保険適用される方針で、現在大いに注目されている薬です。

効果に関しては今後明らかになっていくと思いますが、実は臨床試験の段階で副作用も報告されています。報道では扱いが小さいのですが、その一例として、脳の腫れや微小の脳内出血が頭部MRI検査によって指摘されています。こうした点を踏まえて、この新薬では投与前1年以内に撮影された頭部MRI検査画像を必要とし、投与後1年間は複数回のMRI検査を実施するよう求められています。新薬

は高額になる可能性もあり、実際にどれだけの方が試されるかは分かりませんが、高齢化社会の現状を考えると頭部MRI検査が増えることが予想されます。

ただMRIはCTと比較して検査に時間がかかるため、一日に可能な撮影件数が限られています。頭部検査の増加で、他に検査を必要とする方の実施が遅れてしまう点が懸念されますが、実際に効果が実感できる薬であれば、放射線科としてしっかりと協力しなければと考えます。できるだけ多くの患者さんのご要望にお応えしながら、副作用が見られた際にも脳神経内科の先生方と連携し、病院全体として解決策を探っていきたいと考えています。



院内および地域のクリニックの日常的な診療を支える放射線科。当院には現在3名の画像診断医が常勤している。左より井上部長、金井大輔医師、大平健司医師。

表紙を飾った静岡赤十字病院スタッフ

- 健診センター(左から)
池ヶ谷菜々子さん(受付)
河本裕美子さん(事務)
大橋陽子さん(事務)
上田千紗子さん(医師)
田中小雪さん(看護師)
田中美紗貴さん(看護師)
遠藤彩さん(受付)



地域の方々の健康年齢を少しでも長く維持できるようサポートするのが健診センターの役割。予約から受診、結果報告やフォローまで安心してスムーズに利用いただけるよう、医師を中心に、スタッフ一同頑張っています。

INFORMATION

人間ドックを受けてみませんか

ご自身の健康状態の客観的な確認に大いに役立つ人間ドック。当院健診センターでは、現在2~4月限定の健康診断コースの予約を受け付けています。比較的予約の取りやすいこの時期、ぜひ人間ドックを受けてみませんか。詳しくはwebサイトをご覧ください。



●人間ドック、健康診断の予約・お問合わせ
☎054-253-8732(健診センター直通)



「日本赤十字社静岡県支部との 合同災害救護訓練」を実施

災害救護業務を使命とする日本赤十字社では、平時から救護員が活動に必要な知識と技術の習得を図るための訓練を実施しています。今年度は当院において、日本赤十字社静岡県支部と県内5つの赤十字病院、血液センター、赤十字奉仕団や防災ボランティアの皆さま方の力を借りた大規模災害訓練を9月30日に実施しました。

当日は「駿河湾を震源とするマグニチュード8.0の地震が発生。建物崩壊、火災、津波が発生し多くの死傷者が出ている」との想定の下、災害対策本部の立ち上げから模擬患者でのトリアージ、各診療エリアの受け入れなどを確認。当院を拠点とした県内赤十字病院救護班の受け入れと連携を確認しました。今回の救護訓練には当院職員約550名が参加、今後も円滑な医療活動が行えるよう、実践的な広域支援活動の連携協力を図ってまいります。



「呉服町名店街・静岡伊勢丹・ 日赤合同総合防災訓練」 に参加

去る10月3日、「静岡市を震源とする震度6強の地震、および静岡伊勢丹にて地震による火災が発生」との想定の下、呉服町名店街、静岡伊勢丹との合同総合防災訓練が実施されました。



これは毎年この時期に行われているもので、当院からは呉服町名店街の要請により災害救護班1個班を派遣し、札の辻クロスホール内で負傷者のトリアージや治療にあたりました。市内中心部にある当院にとって近隣地域に果たす役割も重要であると考えます。いざという時に迅速に対応できるよう基本行動の確認を行うとともに、今後も名店街や百貨店、消防署、警察署などとの連携強化を図ってまいります。

INFORMATION インフォメーション

市民のみなさんともっとクロス! 第2回市民公開講座開催のご案内

開設90周年を記念してスタートした「市民のみなさんともっとクロス!」、第2回は近年急増中の「乳がん」と、日本人にとって身近な「大腸がん」をテーマにお送りします。がんの治療や予後の生活への不安など、気になることについての質問や相談も大歓迎です。ぜひお気軽にご参加下さい。



講演1
乳がん

乳腺外科医師 菊池雅之



講演2
大腸がん

外科部長 熱田幸司

日時：2024年3月13日（水）14:00～15:30
会場：札の辻クロスホール
静岡市葵区呉服町1-30 札の辻クロス6階（伊勢丹向かえ）
定員：50名 参加費：無料

往復ハガキまたはメールによる事前申し込みが必要です。

●往復ハガキの場合

往診面に①氏名 ②住所 ③電話番号 ④乳がん・大腸がんについての質問（あれば）を、返信面に返信用宛名を記載し、静岡赤十字病院 総務企画課までお送り下さい。

●メールの場合

件名を「市民公開講座参加申込希望」とし、①氏名 ②住所 ③電話番号 ④乳がん・大腸がんについての質問（あれば）を明記の上、kikaku@shizuoka-med.jrc.or.jpまで送信して下さい。

暮らしに役立つ情報をおとどけ

しずおかクロス NAVI

いっそう信頼される病院を目指して 外来患者アンケート集計結果のご報告

当院では医療サービスの向上を目的として、外来患者の皆様を対象としたアンケートを実施しております。本年も多くの皆様より貴重なご意見・ご要望をいただき、誠にありがとうございます。簡単ではございますが、ここにアンケート調査結果の一部をご報告いたします。またこのほか、自由記載欄ではあたたかいお言葉をたくさんいただき、とても励みになりました。さまざまなご指摘・ご意見は真摯に受け止め、改善に向けて努力してまいります。今後も皆様から信頼される病院、社会に貢献できる病院を目指してまいります。何卒よろしくお願いいたします。

●職員の対応について

（満足5点、やや満足4点、どちらともいえない3点、やや不満2点、不満1点とし平均点を算出）

各科受付事務員の対応は **4.47**

看護師・看護助手（医師の診療補助者）の対応は **4.51**

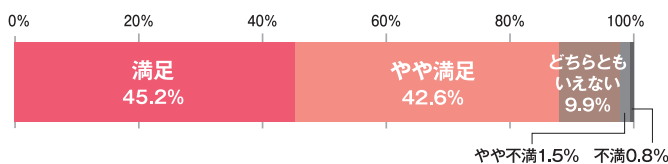
放射線技師の対応は **4.49**

臨床検査技師（採血・心電図など）の対応は **4.48**

会計窓口の対応は **4.35**

●その他全体的なことについて

当院について総合的にはどう思われますか



調査日:令和5年11月13日(月)・11月14日(火) 調査対象:当日来院外来患者 有効回答数:557枚